



2023年12月期（第17期）
決算説明資料

株式会社sMedio

（東証グロース：3913）

2024年2月14日

本資料の複写、転用はしないで下さい

- 決算概要 ③
- 事業ハイライト ⑨
- 業績予想と経営戦略説明 ⑫

2023年12月期 決算概要

■ 売上高は、813百万円（前年同期は827百万円）

前期比で、受託開発収入が8百万円、保守・サポート収入が3百万円増加した一方で、ロイヤリティ収入が▲24百万円減少したことにより、売上高は813百万円となりました。

■ 営業利益は、▲41百万円（前年同期は196百万円の赤字）

前期比で、売上高が減少した一方で、売上原価および販管費が減少したことにより、当期の営業利益は▲41百万円となりました(詳細はP5をご参照ください)。

■ 最終利益は、▲163百万円（前年同期は185百万円の赤字）

和解金の支払いの影響により当期の最終利益は▲163百万円となりました。



連結決算概要 (PL)

単位：百万円

	2021年 1-12月	2022年 1-12月	2023年 1-12月	前年同期比	
売上高	722	827	813	▲13	▲1.6%
売上原価	317	603	450	▲152	▲25.3%
売上総利益	405	223	362	139	62.2%
販管費	398	420	404	▲15	▲3.7%
営業利益	6	▲196	▲41	154	n/a
営業外収益	6	16	44	28	178.9%
営業外費用	0	1	–	▲1	▲100.0%
経常利益	12	▲182	3	185	n/a
特別利益	–	–	–	–	n/a
特別損失	–	–	146	146	n/a
税金等調整前当期純利益	12	▲182	▲143	38	n/a
法人税等	11	3	19	16	555.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	1	▲185	▲163	21	n/a
売上原価率	43.9%	72.9%	55.4%	▲17.5p	n/a
営業利益率	0.9%	▲23.8%	▲5.1%	18.6p	n/a

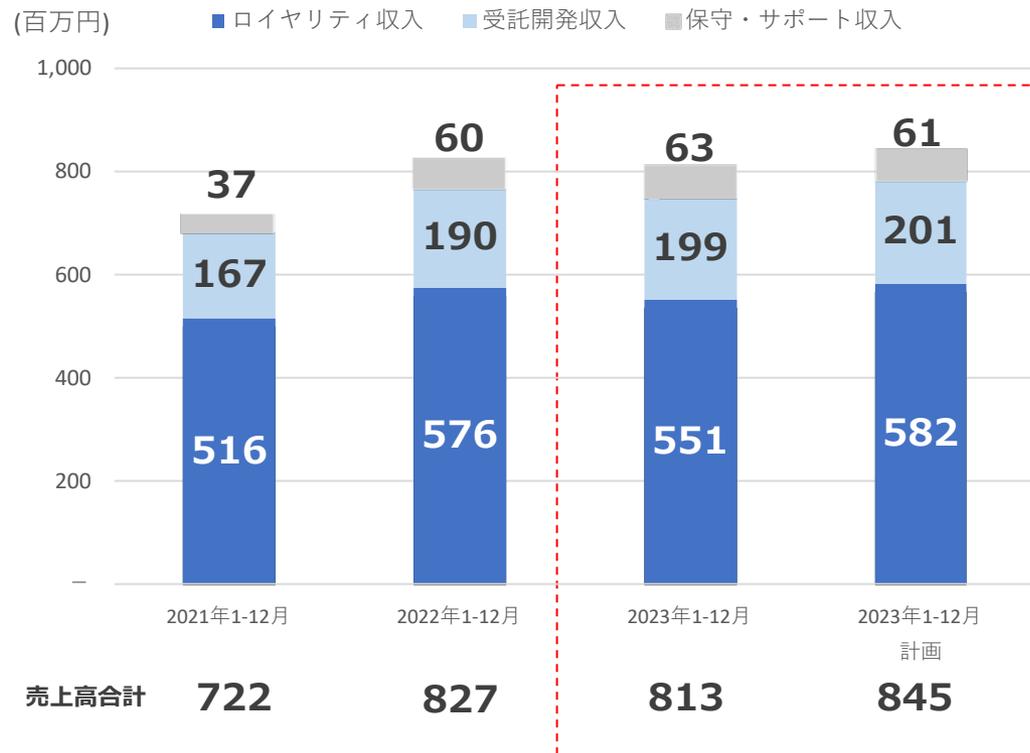
- **売上高**：前期比で、ロイヤリティ収入が▲24百万円、受託開発収入が+8百万円、保守・サポート収入が+3百万円となりました。
- **営業利益**：前期比で、売上高が減少した一方で、売上原価および販管費も減少し、営業利益は▲41百万円となりました。当期に原材料の評価減70百万を計上しましたが、当該評価減の影響を除くと、営業利益は28百万円でした。
- **親会社株主に帰属する当期純利益**：和解金の支払い146百万円の影響もあり、親会社に帰属する当期純利益は▲163百万円でした。原材料の評価減および和解金の支払いによる影響を除くと、親会社に帰属する当期純利益は53百万円でした。

連結決算概要 (BS)

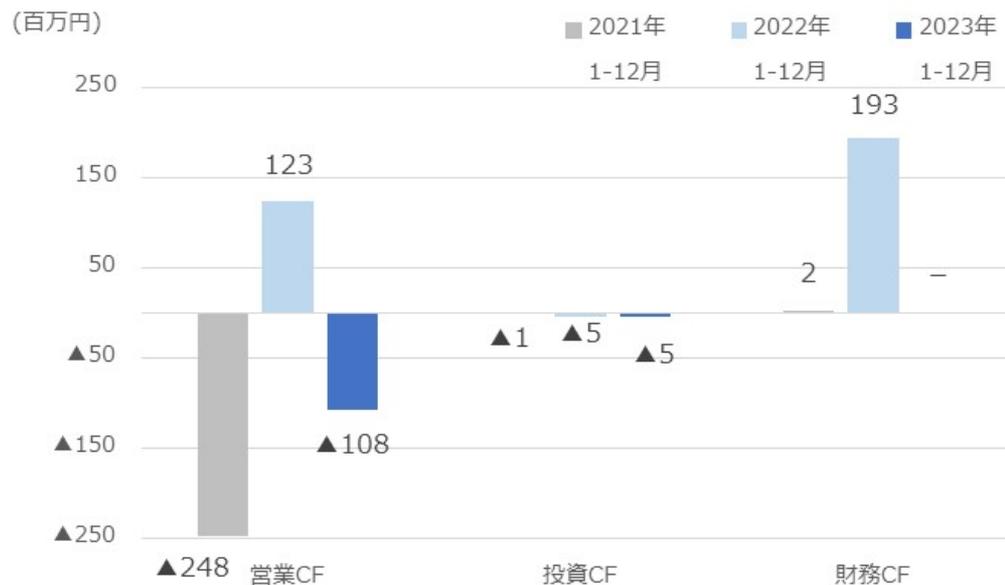
単位：百万円

資産	2021年 12月	2022年 12月	2023年 12月	前期末比	負債・純資産	2021年 12月	2022年 12月	2023年 12月	前期末比
現金及び預金	570	889	781	▲108	買掛金	12	20	23	2
売掛金	45	181	215	34	未払法人税等	3	14	12	▲1
仕掛品	30	12	1	▲10	賞与引当金	2	2	2	0
原材料及び貯蔵品	520	235	116	▲119	工事損失引当金	1	-	-	-
その他	21	26	29	3	その他	88	122	76	▲46
流動資産合計	1,189	1,346	1,144	▲201	流動負債合計	106	159	114	▲45
有形固定資産	15	14	13	▲1	固定負債合計	9	13	10	▲2
ソフトウェア	5	3	1	▲1	負債合計	116	173	125	▲47
のれん	1	-	-	-	資本金・資本剰余金	1,165	1,347	1,341	▲6
その他	1	1	1	0	利益剰余金	145	23	▲139	▲163
無形固定資産合計	8	4	3	▲1	自己株式	▲194	▲176	▲166	9
投資その他資産	36	28	28	▲0	その他	16	25	29	3
固定資産合計	60	48	44	▲3	純資産合計	1,133	1,221	1,064	▲156
資産合計	1,250	1,394	1,189	▲204	負債・純資産合計	1,250	1,394	1,189	▲204

- 資産：和解金の支払等により現預金が108百万円減少し、評価減の計上等により原材料及び貯蔵品が119百万円減少しております。
- 純資産：自己資本の水準について、当期末において自己資本比率は89.4%であり、引き続き、財務の健全性は維持しております。



- **ロイヤリティ収入**：当社ソフトウェアが搭載されている顧客の製品種類が増えた一方で、一部の顧客製品の出荷数が計画値を下回ったこと等により、前年同期比および計画比ともに減収となりました。
- **開発収入**：セキュリティ&プライバシー事業での受託開発案件により、前年同期比では増収となりましたが、計画比では微減となりました。
- **保守・サポート収入**：受託開発案件での保守・サポートが増加したことで、前年同期比および計画比ともに増収となりました。



■ 営業によるキャッシュ・フロー

当期における営業活動によるキャッシュ・フローは108百万円のマイナスになりましたが、主に税金等調整前当期純損失を143百万円計上したことに加え、売上債権34百万円の増加、棚卸資産121百万円の減少、法人税等の支払い22百万円によるものであります。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

当期における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得及び無形固定資産の取得によるものです。なお、新たな収益の柱となる事業への投資は、固定資産の取得ではなく、開発のための人員や営業、技術サポート人員への投資となっているため、投資活動によるキャッシュ・フローの数値は小さくなっております。

■ 財務によるキャッシュ・フロー

当期における財務活動によるキャッシュ・フローはありませんでした。

2023年12月期 事業ハイライト

パソコン・デジタル家電向け組込みソフトウェア事業

- 通期での売上高は、534百万円。（前年同期比：▲45百万円）
- Valuationに関連する原材料の評価減の計上（▲70百万円）と技術ライセンスを受けている相手先に和解金の支払いを実施（▲146百万）。
- 富士通パソコンFMVに新アプリ「FMVコントローラー」を提供。
- ロジテック（株）ポータブルブルーレイドライブに「sMedio TrueBD SE for Logitec」を提供。
- 「Valution BD(4K対応版）」が2,700万ライセンスに到達。

建設DXサービス事業

- 通期での売上高は、55百万円。（前年同期比：+1百万円）
- KPI（重要目標達成指数）

	当期末目標	当末実績	前期末実績
累計採用企業数(社)	10社超	12	8
累計採用トンネル数(本)	60	49	32

- 「切羽AI評価サービス」が、（株）森本組、清水建設（株）、青木あすなろ建設（株）で採用。
- 「覆工コンクリートAI評価サービス」が、（株）安藤・間で採用。
- 累積採用企業社数、採用トンネル数は前期末実績比でそれぞれ4社、17本増。
- 自社建設DXサービス「濁水処理AI解析サービス」を4月にサービスイン。

セキュリティ・プライバシー事業

- 通期での売上高は、217百万円。（前年同期比：+26百万円）
- クラウド型スマートフォンバックアップサービス「sMedio Cloud Backup」の2024年1月末時点の累計サブスクリプション（定期購読）契約者数は30,000名に到達。2024年末の獲得目標は80,000名。

IoTソリューション事業

- 通期での売上高は、6百万円。（前年同期比：+5百万円）
- 戸田建設（株）と、施工中の山岳トンネル建設現場において、環境測定、クラウドによる一元管理、iOSアプリで可視化するシステムを共同開発、実証運用を開始。Kiwi Technology, Inc.のLoRaWAN対応ゲートウェイとセンサーを活用。

2024年12月期 業績予想と経営戦略説明

3期ぶりの黒字転換を達成し、新経営戦略の元でさらなる成長を目指す。

- 新事業領域として「GXサービス事業」を開始。
- 「DXサービス事業」を強化し、ストック収入の拡大。
- 「テクノロジーライセンス事業」では営業利益率の向上。

(百万円)	2024年12月期予測	増減額(対前年)	増減率(YoY)
総売上	898	+84	+10.4%
GXサービス事業	122	+122	n/a
DXサービス事業	162	+54	+50.2%
テクノロジーライセンス事業	614	▲91	▲13.0%
営業利益	46	+88	n/a
経常利益	46	+43	+1,440.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	34	+197	n/a
EPS (一株当たりの当期純利益)	15円08銭	87円66銭	n/a

2024年度12月期の経営戦略説明については、
2024年2月14日に別途適時開示しております
「経営戦略説明資料」をご高覧願います。

- ◆ 本資料は、2024年2月14日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社（連結子会社を含む）の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込み、または予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- ◆ これらの将来の展望には、様々なリスクや不確実性が内在しています。既知、もしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと保証することはできず、実際の結果が将来の展望と著しく異なることもありえます。
- ◆ 本資料中の数値は、単位未満切捨てで表示しており、その影響で表中の合計と一致していない場合があります。
- ◆ 本資料中に記載されている会社名および製品・サービス名等の、各社の登録商標または商標には、一部、®、TMなどの記載を省略しております。

